

中東呼吸器症候群（MERS）など感染症の流行国に滞在し、日本への入国・帰国時に監視対象となった人の63%は厚生労働省の規定通りに健康状態を報告していなかったことが15日、総務省行政評価局の調査で分かった。東京五輪・パラリンピックに向けて訪日外国人の増加も予想され、総務省は「感染拡大が危ぶまれる」として、厚生労働省に改善を勧告した。

流行国に渡航した人は空港などの検疫所で申告する。発熱で医療機関に留め置かれぬ場合でも、一定期間は健康報告の義務がある。MERSは2週間、エボラ出血熱は3週間、毎日朝夕に体温を測り、その都度、電話などで検疫所に報告しなければならない。

絶滅危惧種を守ろう

きょうから
小田原 生物の生息環境紹介

絶滅の危機にある動植物について考える企画展「レッドデータの生物」を知って守ろう神奈川の生き物たち」が、県立生命の星・地球博物館（小田原市入生田）で16日から開催される。県内の生物たちの生息環境を紹介し、絶滅を防ぐためにデータを集める活用する大切さを訴える展示になっている。来年2月25日まで。

レッドデータとは、絶滅の恐れのある動植物の生息状況情報をまとめたもの。県版は1995年に初版、2006年に改訂版が出版された。本年度から調査対象を海水魚や無脊椎動物に

拡大しMERSとコロナウイルス熱の流行国に滞在し、成田空港（千葉県）など6検疫所が2015・16年に監視対象とした計911人について調査。573人は毎日の検温報告が遅れたり中断したりした。このうち11人は、監視期間の終了時に発症していないことの確認ができなかった。

高卒の就職内定率77%

10月末時点 25年ぶり高水準

来春卒業予定で就職を希望している高校生の10月末時点の就職内定率は、前年同期より2.3%増の77.2%で、8年連続で上昇したことが15日、文部科学省の調査で分かった。75%を上回ったのは1992年以來で25年ぶりの高水準となった。

先月文科省が発表した大卒学生の内定率（10月1日時点）は、

東京都府県教育委員会などを通じて実施した。約14万5千人が内定を得ていた。内定率は男子が2.0%増の78.1%、女子が2.8%増の75.8%。都道府県別では富山89.6%、三重88.7%、愛知88.0%の順で高かった。最も低いのは沖縄の47.2%で、北海道58.4%、高知69.4%と続いた。

横浜市中央区海岸通の「横浜マリクラブ」で同日夜、水先人ら海事関係者を招いたクリスマスパーティーがあり、宝船絵の下絵が抽選でプレゼントされた。当選者の一人で前日本船長協会会長の小島茂

新年の縁起を呼ぶ宝船絵を描いている美術エッセイストでグラフィックデザイナーの宮野力哉さん(83)＝茅ヶ崎市＝が14日、来年に向けた新作を披露した。えとの戌にちなみ、奈良国立博物館が収蔵する狛犬をアレンジした。

「戌」の宝船絵で魔よけ

茅ヶ崎の宮野さん新作披露
デザイナー

狛犬は鎌倉時代の木造彫刻で、国の重要文化財に指定されている。口を開く阿形と口を閉ざす吽形で対をなしているが、同館蔵は阿形のみ。宮野さんは「狛犬は魔よけとしての役割がある」として、対にして描いた上で宝船の絵

を添えた。宮野さんは1997年から毎年、大阪・堀川戎神社に原画を奉納。同神社が印刷して正月の参拝者に配っている。（三木 崇）



来年の宝船絵を説明する宮野さん(中央)
14日夜、横浜マリクラブ

来年3月17日ダイヤ改正

JR北海道は、「日本一」南武線は、平日午後10時台に川崎―稲城長沼で運転

改正を発表した。